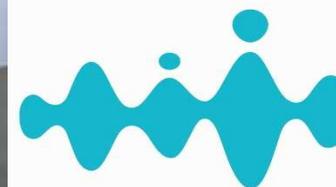


2014.1.4. 京都水族館 好奇心一杯で孫と一緒に

思いもよらず 気に入った展示

- 大水槽を乱舞する鯛の群れ
金子みすず「大漁」のシーンを思い出していました
- 化石でしか知らなかった「オームガイ」が悠然と泳ぐ姿



KYOTO AQUARIUM
京都水族館



京都市内初の大規模水族館が、京都・梅小路公園に!

～さあ、あなたも「水と共につながる、いのち。」を体験してみませんか?

京都水族館は、「水と共につながる、いのち。」をコンセプトに、一滴のしずくが、やがて川になり、海に注ぎ、雲となり、ふたたび里山に戻ってくる水のつながりの中で、生き物がかけがえのない命を営々とつないでいることを伝え、その美しさを感じ、大切さを学び、水辺の体験までも楽しめる水族館を目指しています。また、子どもたちをはじめ、幅広い年齢層へ環境学習の場をご提供するなど、京都の環境を守る活動の情報発信や、水の豊かな都が育んだ文化のご紹介を行ってまいります。

交流プラザ

山紫水明ゾーン

イルカスタジアム

大きく広がる空間の中心に

海洋ゾーン

大水槽



ここには、日本の海がまるごとあります。大陸棚や洞窟も、磯や砂場だってあります。潮の流れによってやってくる、たくさんの種類の魚たちに出会えます。群れをなす小さい魚、ゆうゆうと泳ぐ大きな魚、色とりどりの魚、そして磯に住むかわいいいきものたちも見られます。

ペンギンゾーン

この主役は、水の中をすいすいと飛ぶように泳ぐ、白と黒のタキシードを着た鳥たちです。元気に水に飛び込む者、いっしょうけんめい丘に上がろうとする者、よちよちと丘を歩く者、さまざまな姿をごらんください。



かいじゅうゾーン

昔むかし、日本海にもたくさんのかいじゅうが住んでいました。海辺の岩場では、オットセイたちがごろごろ、丘でのんびり、好き好きにくつろいでいます。目を転じれば、見事なアクロバットを披露する水中のオットセイも見られます。



京の川ゾーン

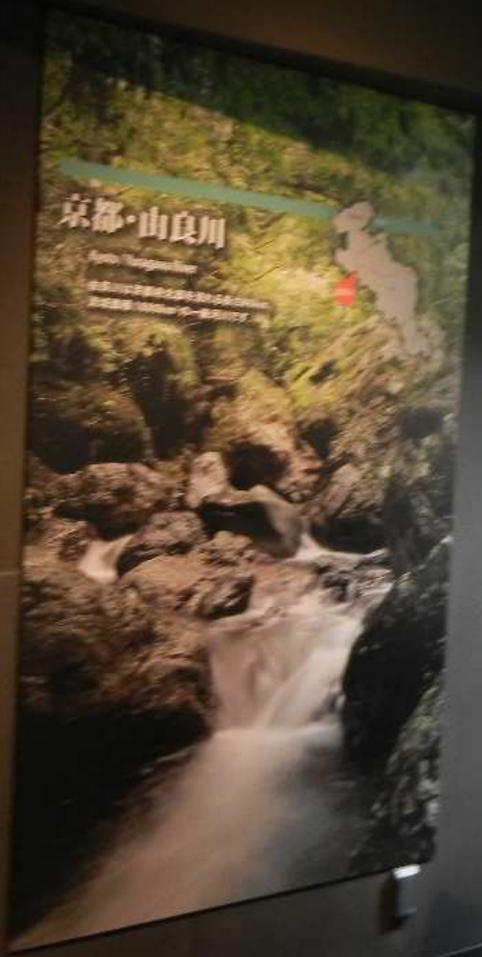
きれいな水を好む特別天然記念物のオオサンショウウオがこの主役です。息を吸うために、のそっと現われる姿や、小魚を狙って驚くようなスピードでハンターとなる瞬間が見られるかもしれません。



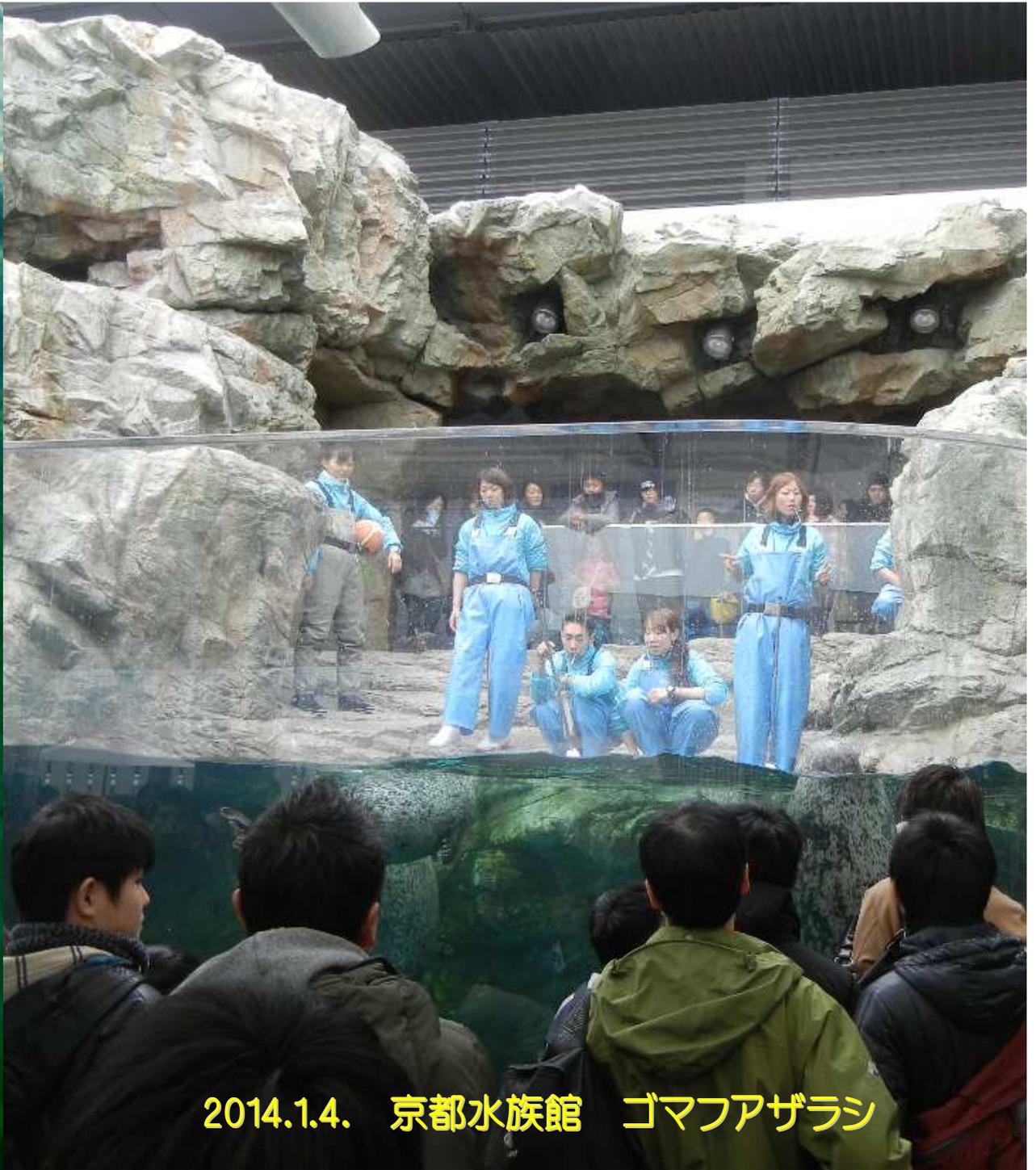
京都駅西北 東海道線線路沿い 梅小路公園
京都水族館



2014.1.4. 京都水族館 京の川ゾーン



2014.1.4. 京都水族館 京の川ゾーン



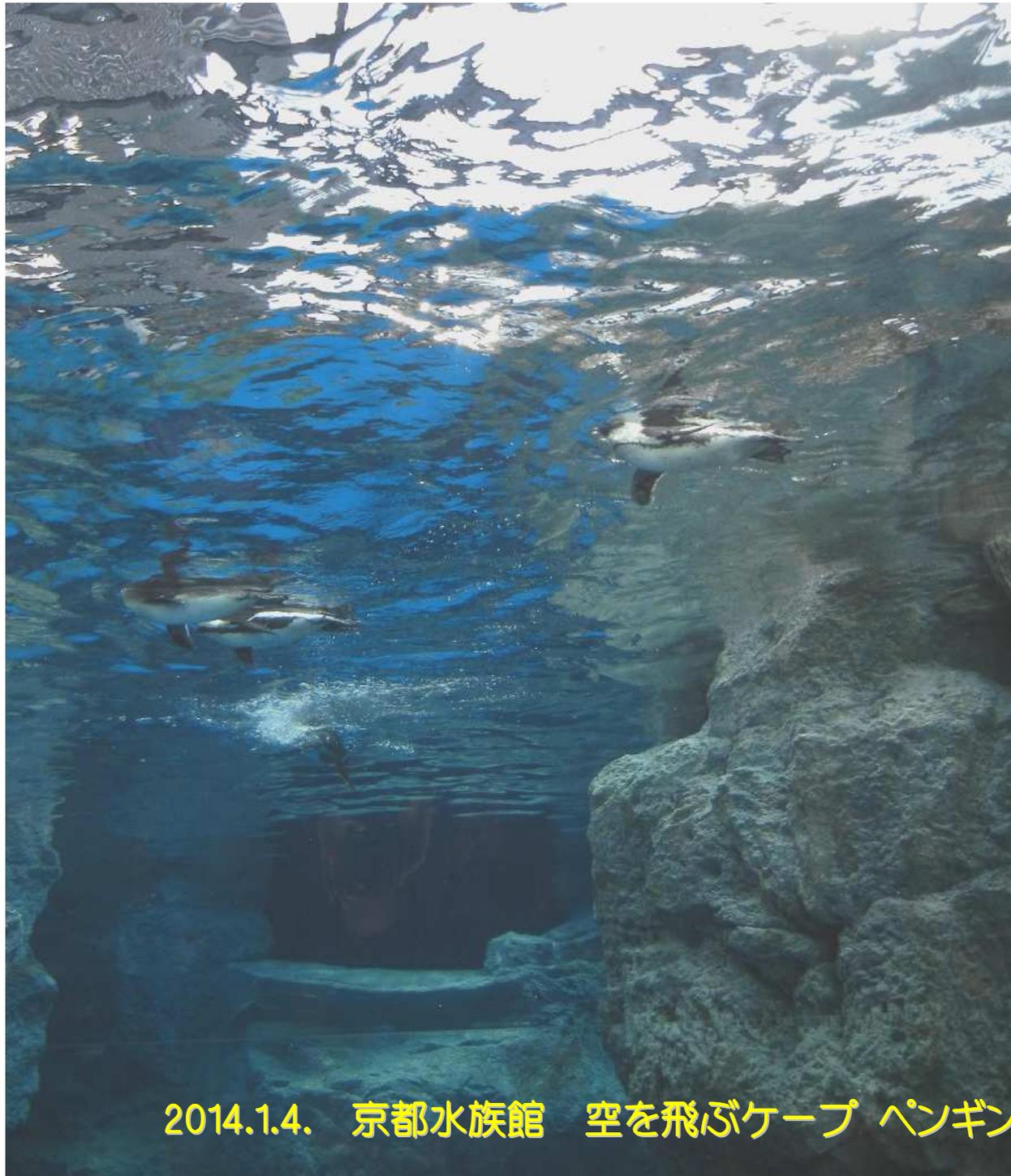
2014.1.4. 京都水族館 ゴマフアザラシ



2014.1.4. 京都水族館 空を飛ぶケープペンギン



2014.1.4. 京都水族館 空を飛ぶケープペンギン



2014.1.4. 京都水族館 空を飛ぶケーブ ペンギン

● 大水槽を乱舞する鯛の群れ

2014.1.4. 京都水族館 大水槽





2014.1.4. 京都水族館 大水槽 魷の群れと えい

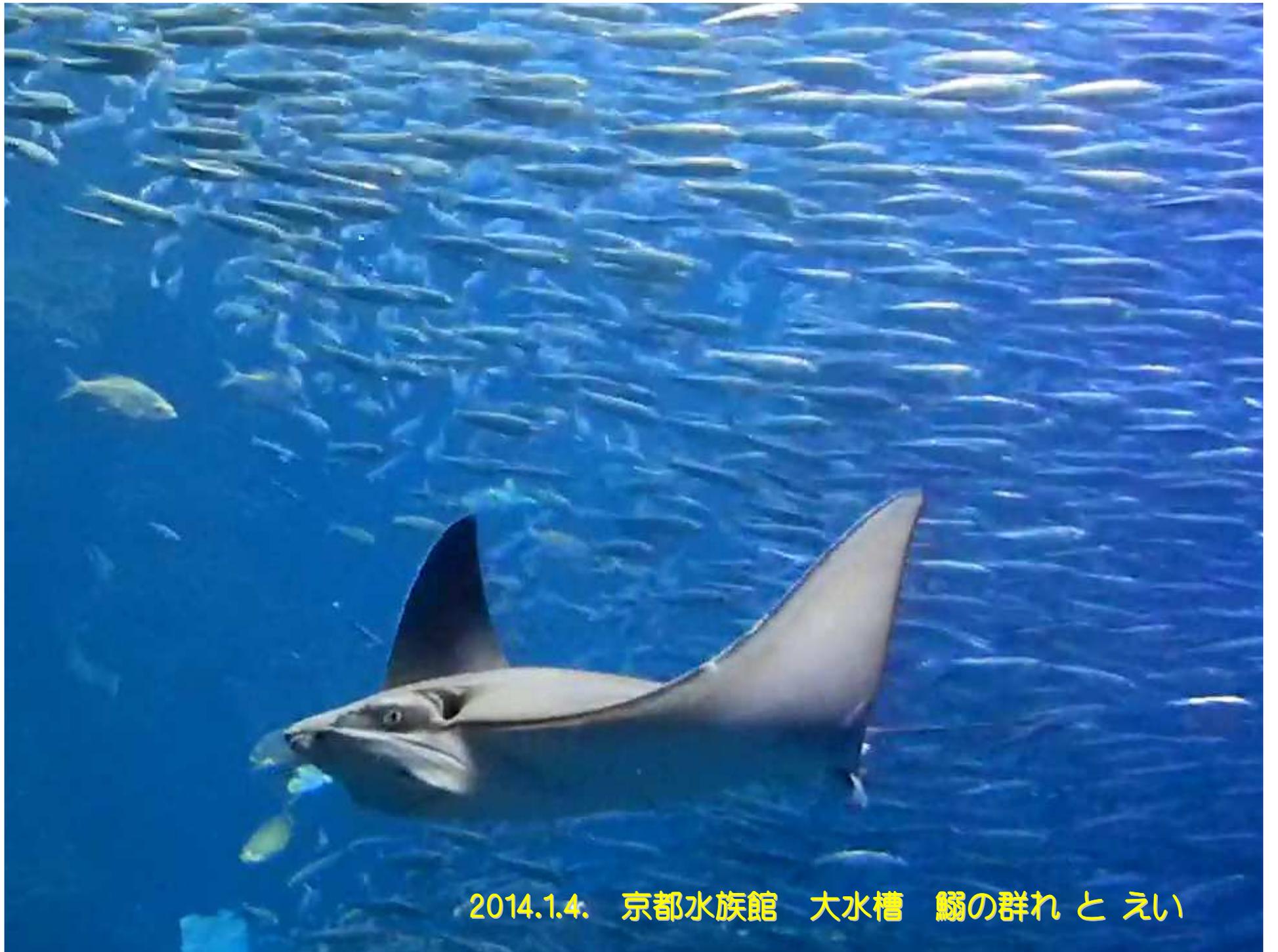


大漁
朝焼小焼だ
大漁だ。
大羽鰹の
大漁だ。
浜はまつりの
ようだけれど
海のなかでは
何万の
鰹のとむらい
するだろう。



金子みすずの「大漁」を描いた 中島潔氏の動画が ぱっと頭に こんなシーンかと・・・

京都水族館 大水槽を鰹の群れが乱舞 2014.1.4.



2014.1.4. 京都水族館 大水槽 魷の群れと えい



2014.1.4. 京都水族館 大水槽 魷の群れと えい

生きた化石 「オウムガイ」が泳いでいるのを初めてみる

2014.1.4. 京都水族館





美祢市化石館
2012年5月16日

アンモナイト化石の宝庫 美祢

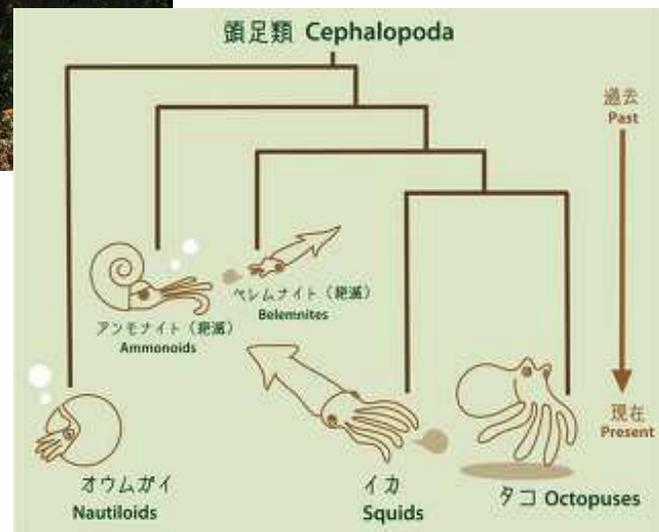


生きた化石「オウムガイ」 & 「アンモナイト」

美祢でよく見たアンモナイトは渦巻きに直角に入っている「ひだ」が凸
オウムガイは凹 オウムガイの方が古い化石だと言う。

そんな生きた化石大きなオウムガイが悠然と目の前を泳いでいた。

初めて見る生きた化石 オウムガイの姿です





化石でしか知らなかった「オウムガイ」が 悠然と目の前を泳いで行きました



生きた化石 「オウムガイ」が泳いでいるのを初めてみました

2014.1.4. 京都水族館



こんな「くらげ」の姿も

2014.1.4. 京都水族館 くらげ



2014.1.4. 京都水族館 くらげ

A large number of glowing blue jellyfish are swimming in a dark tank. The jellyfish are of various sizes and orientations, some showing their internal structures like the manubria. The overall scene is a dense collection of these bioluminescent creatures.

こんな「くらげ」の姿も

2014.1.4. 京都水族館 くらげ



2014.1.4. 京都水族館 イルカショー



2014.1.4. 京都水族館前 梅小路公園で 南の端を蒸気機関車が走っていました



気に入った「鯛の群れ」や「オウムガイ」「クラゲ」のほか「空飛ぶペンギン」や「ゴマフアザラシ」「イルカショー」「京都の川」の展示なども

すぐ南は梅小路蒸気機関車館そして新幹線・東海道・山陰線を走る電車もすぐ見える。

入場料が高いのと 大人目線が過ぎる水族館にちょっぴり不満ですが、展示は面白い。満足の水族館ことしも好奇心を忘れれずに

2014.1.4. .

